



## ～ 掲 載 内 容 ～

## ページ

### 1 久慈地域の情報

#### ○普及現地情報

- ・「白銀のひかり」栽培志向者向け研修会を開催しました！ . . . 1
- ・冬期の品揃え充実を目指して～久慈地域産直連絡協議会研修会開催～ . . . 2
- ・管内の花き管理状況は？ 花きは場巡回が開催されました . . . 3
- ・新規就農者と農業農村指導士等の交流会を開催！ . . . 4

### 2 お知らせ

#### ○令和7年度土づくり・施肥改善研修会 . . . 5

- ・土壌や施肥に関する知識や理解を深めてみませんか。

#### ○農作業中の熱中症を予防しましょう！！(ステッカー添付) . . . 別添

- ・まだまだ暑い日が続きます。熱中症には注意しましょう！

#### ○就農や農業経営の悩みや困りごと ご相談ください . . . 別添

- ・農業経営や就農について課題があれば、お気軽にご相談ください

#### ○秋の農作業安全月間 . . . 別添

- ・普段の作業の安全性をもう一度見直しましょう！

#### ○ツキ/ワグマに注意しましょう . . . 別添

- ・県内各地にクマが出没しています。農作業中は特に注意しましょう！



## 「白銀のひかり」栽培志向者向け研修会を開催しました！

令和7年7月16日に、久慈地区合同庁舎で、「白銀のひかり」栽培志向者向け研修会を開催しました。研修会には、久慈地域白銀のひかり栽培研究会の会員も参集し、関係者と合わせて約30名が参加しました。

研修会では、県北農業研究所から「白銀のひかり」の特徴について、農政部から作付経営体の要件について説明いただき、その後に「白銀のひかり」の試食会を行いました。参加者からは、栽培に関する内容やこれからのPRについてなど活発に質問が出され、栽培志向者も作付け意欲が高まっているようでした。

その後、普及センターから現在の生育が進んでいることや斑点米カメムシ類の多発と適期管理などについて説明し、久慈市大川目地区の「白銀のひかり」のほ場で現地研修を行いました。

7月28日には、2回目の研修会を開催予定です。



白銀のひかりの特徴を説明しているようす



現地研修会のようす

## 冬期の品揃え充実を目指して ～久慈地域産直連絡協議会研修会開催～

久慈地域産直連絡協議会では、産直の冬期の品揃え確保と農薬適正使用をテーマとした講義形式による研修会を7月18日に開催し、管内産直の出荷者ら16名が参加しました。

始めに、株式会社渡辺採種場の桂健也氏を講師に、野菜栽培について研修しました。品質の良い野菜作りの基礎について振り返り、秋冬どりのおすすめ品種の紹介に加え、冬期に需要の高い春菊について、高品質で長期間収穫できる栽培管理のポイントを講義いただきました。

参加者からは、「播種や育苗の方法が参考になった」「春菊の収穫の仕方が勉強になった」と感想があり、品質を高める栽培のポイントを学ぶ良い機会となったようでした。

また、普及センター職員を講師とした農薬適正使用の講義では、使用履歴の記録や使用基準の遵守の重要性が呼びかけられ、農薬の効果的で安全な使用方法を確認しました。

今回の研修会をきっかけに、品揃えの充実により、産直が一層賑わうことを期待します。



野菜栽培についての講義の様子

## 管内の花き管理状況は？ 花きほ場巡回が開催されました

花きほ場巡回及び研修会(主催：JA新しいわて久慈地方花き部会)が、7月17日に管内3市町で開催され、久慈地方の生産者6名が参加しました。

当日は、7か所のスプレーギク、小ぎく栽培ほ場を巡回しましたが、一部ほ場では、害虫や、連作障害が疑われる症状の発生があり、防除や土づくり等の課題が明らかとなりました。

また、今年は新規栽培者が2名仲間入りし、先輩である生産者が栽培管理に関するアドバイスをを行う等、有意義な巡回となりました。

研修会では、種苗メーカーのデュメンオレンジジャパンの担当者から、スプレーギクの中でも高温で開花しやすい新品種等について説明をいただきました。普及センターからは、スプレーギクの収穫前の栽培管理について説明を行いました。

きく類は、昨今の高温傾向で需要期より開花が遅延する可能性があり、生産者は巡回でのアドバイスをもとに、適期出荷に向け、栽培管理を進めていきます。



▲スプレーギクの圃場を見学する生産者



▲膜割れ前のスプレーギク

## 新規就農者と農業農村指導士等の研修交流会を開催！

久慈地方農業農村活性化推進協議会では、新規就農者の経営発展に向けて「新規就農者と農業農村指導士等の研修交流会」を7月28日に開催し、新規就農者や就農志向者、農業農村指導士等28名が参加しました。

現地研修として、最初に令和7年6月にオープンした道の駅のだ「ぱあぷる」の産地直売所を視察しました。次に、(農)宇部川ファームで、法人設立の経過・課題等についてお話を伺い、水稲育苗ハウスを活用したミニトマトの「ういず One 栽培」ほ場を視察しました。続いて、新規就農者新山麗佳氏の就農から現在までの規模拡大の流れ、今後の展望などについてお話を伺い、露地きゅうりほ場を視察しました。

最後に、農家食堂つきやで郷土料理を試食後、交流会として新規就農者の抱える課題等について意見交換を行いました。

今後もこのような取組を通じて、新規就農者等が農業農村指導士等先輩農業者に技術・経営両面で気軽に相談できるよう支援していきます。



(農)宇部川ファーム  
ミニトマトのういず One 栽培



農家食堂つきやの郷土料理膳

## 令和7年度土づくり・施肥改善研修会実施要領

### 1 趣 旨

土づくりは、農作物の安定生産の基本となる技術であるが、近年、県内の耕地土壌は土壌養分が過剰に蓄積しており、環境負荷や肥料コストの低減を図る適正施肥の取組が緊要な課題となっている。

このため、農業者や指導者を対象に、施肥に係る知識習得や施肥技術のレベルアップを促し、施肥改善の実践・指導ができる人材の育成を目的として研修会を開催する。

### 2 主 催

岩手県（農林水産部農業普及技術課）

### 3 共 催

岩手県施肥合理化協議会（事務局：全農岩手県本部営農支援部）

### 4 開催日時・場所・受講対象者・受講内容

#### (1)「基礎」研修

ア 開催日時 令和7年10月31日（金） 13:30～16:30（受付13:00～）

イ 場所

① 本会場

岩手県農業研究センター（北上市成田20-1） 2階 大会議室

② 県北サテライト会場

県北農業研究所（九戸郡軽米町大字山内23-9-1） 3階 中会議室

※ Web会議システムにより、本会場（岩手県農業研究センター 北上市）での研修を  
県北農業研究所で同時に受講できます。

ウ 受講対象者

農業者、農業法人、指導者等

エ 受講内容

施肥、土づくりを実践する際に必要となる基礎的な知識の習得を目的とした内容で、概ね「土壌医検定3級レベル」の内容。

科 目	研 修 内 容	時 間
1 土壌の特性と施肥管理	土壌の基礎知識（土壌の種類と特徴）、肥料の種類と使い方	90分
2 土壌診断と施肥改善	土壌診断の進め方と分析結果の見方、土壌改良の方法及び簡易土壌分析機の紹介	70分

## (2)「専門」研修

ア 開催日時 令和7年11月13日(木) 13:30~16:30(受付13:00~)

イ 場所

① 本会場

岩手県農業研究センター(北上市成田20-1) 2階 大会議室

② 県北サテライト会場

県北農業研究所(九戸郡軽米町大字山内23-9-1) 3階 中会議室

※ Web会議システムにより、本会場(岩手県農業研究センター 北上市)での研修を  
県北農業研究所で同時に受講できます。

ウ 受講対象者

農業者、農業法人、指導者等

エ 受講内容

土づくり、施肥改善についてのアドバイスや指導に必要な専門知識の習得を目的とした内容で、概ね「土壌医検定2級レベル」の内容。

科目	研修内容	時間
1 土壌の化学性・物理性・生物性と作物生育	土壌の化学性・物理性・生物性が作物生育に及ぼす影響とその改善	50分
2 作物の施肥特性と施肥管理	作物の生理障害・土壌病害の診断、肥料・土壌改良資材・堆肥の種類と特色	40分
3 土壌診断と施肥改善及び簡易土壌分析機の利用について	土壌診断の進め方と調査測定、土壌診断に基づく施肥設計、簡易土壌分析機の利用について	70分

## (3) 処方箋作成者育成研修

ア 開催日時 令和7年11月19日(水) 13:00~16:30(受付12:30~)

場所: 岩手県農業研究センター(北上市成田20-1) 2階 大会議室

イ 受講対象者

施肥・土づくりに関する基礎的な知識を有する農業者、農業法人、指導者等  
(基礎研修や専門研修を受講していなくても申し込みいただけます。)

ウ 受講内容

土壌診断に基づく処方箋(施肥設計)作成に必要な専門知識の習得を目的とした内容。

科目	研修内容	時間
1 土壌診断と施肥改善	土壌診断の進め方と調査測定、土壌診断に基づく施肥設計について	40分
2 処方箋(施肥設計)の作成演習	処方箋(施肥設計)の作成演習	50分
3 簡易土壌分析実習	実際の土壌を用いた簡易土壌分析手法の習得	40分
4 土壌医検定試験対策	土壌医検定3級及び2級相当の予想問題の演習と解説	60分

## 5 受講料

無料

## 6 受講申込方法

### (1) 申込方法

別紙研修会受講申請書に記載の上、下記へFAXまたはメールにより申込願います。

なお、申し込み後に受付完了の連絡はいたしませんので、御了承ください。

FAX番号 019-629-5664 E-mail AF0005@pref.iwate.jp

### (2) 研修会受講申請書のダウンロード

岩手県ホームページよりダウンロードできますので御利用下さい。

(岩手県ホームページ→画面上方の「産業・雇用」内→農業→農業技術→農産物の生産)

### (3) 留意事項

ア 各会場の定員を超えた場合は、募集を締め切らせて頂く場合がございますので、予め御了承ください。

イ 募集は先着順とし、定員を超えた場合には、その旨、連絡することがありますので、御了承頂くとともに、申請書には必ず連絡先（日中に連絡がとれるもの）を記載願います。

ウ 講義には計算を伴う内容がありますので、計算機を持参頂くと便利です（研修会場では用意しませんので御留意下さい。）。

エ 基礎研修・専門研修の受講者は、別紙「土壌肥料用語と土壌診断項目」を受講前に御一読頂くようお願いいたします（当日も印刷し、配布します。）。

オ 会場の暖房の都合上、寒く感じる場合がありますので、暖かい服装でご参加ください。

## 7 申込締切

(1) 基礎研修：令和7年10月21日（火）

(2) 専門研修：令和7年11月4日（火）

(3) 処方箋作成者育成研修：令和7年11月10日（月）

## 8 その他

本研修会の受講内容は土壌医検定のレベルを目安としていますが、土壌医検定の資格を得るには、日本土壌協会が実施する試験（令和8年2月8日（日）：詳細は土壌医検定のホームページを参照）に合格する必要があります。

## 9 問い合わせ先

岩手県農林水産部農業普及技術課 技術環境担当 白木

電話 019-629-5656 FAX 019-629-5664

## 令和7年度土づくり・施肥改善研修会会場図

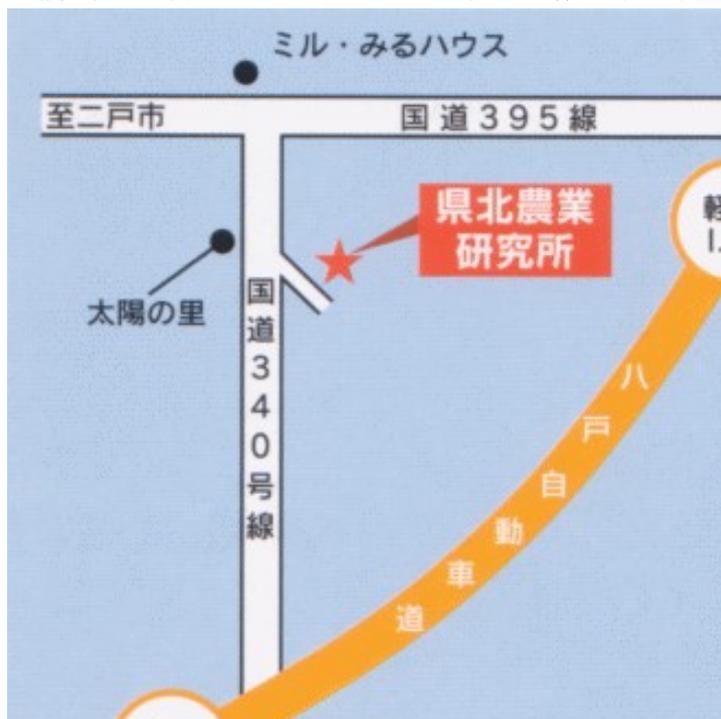
### 1 基礎研修・専門研修(本会場)、処方箋作成者育成研修

場所：岩手県農業研究センター（北上市成田 20-1） 2階 大会議室



### 2 基礎研修・専門研修(県北サテライト会場)

場所：県北農業研究所（九戸郡軽米町大字山内 23-9-1） 3階 中会議室



【別紙】

## 令和7年度土づくり・施肥改善研修会受講申請書

申込日 令和7年 月 日

岩手県農林水産部農業普及技術課 御中

土づくり・施肥改善研修会を受講したいので申請します。

### 1 受講を希望する研修会会場

受講を希望する会場の欄に○を記入ください。

研修の種類		会場	○印	日
基礎研修	本会場	岩手県農業研究センター（北上市）		10/31(金)
	県北サテライト会場	県北農業研究所（軽米町）		
専門研修	本会場	岩手県農業研究センター（北上市）		11/13(木)
	県北サテライト会場	県北農業研究所（軽米町）		
処方箋作成者育成研修		岩手県農業研究センター（北上市）		11/19(水)

注) 申込〆切 ○基礎研修 10/21(火) ○専門研修 11/4(火)  
○処方箋作成者育成研修 11/10(月)

### 2 受講申込者

住所	〒 —
氏名	
会社名・所属	
電話番号	— — (自宅・会社・携帯) (募集定員を超えた際の連絡に使いますので、日中に連絡がとれる番号を記載)
メールアドレス	@

【提出先】岩手県農林水産部農業普及技術課（白木）あて  
FAX：019-629-5664 E-mail：AF0005@pref.iwate.jp  
※電子メールでの提出の際は件名を「土づくり・施肥改善研修会受講申請」として頂くようお願いいたします。

## 電子メールを活用した農業情報のサービスを行っています

久慈農業改良普及センターでは、農作物技術情報、台風や気象災害などへの注意情報、病害虫に関する情報、スマート農業に関する情報などをタイムリーに入手することに役立つメール配信をしています。

ご自身のメールから [ce0026@pref.iwate.jp](mailto:ce0026@pref.iwate.jp) (普及センター組織アドレス) まで「氏名」、「住所」、「電話番号」を送信していただければ、いつでも登録できます。登録すれば久慈農業改良普及センター(地域 ML)からだけでなく、県(県 ML)からも情報が配信されます。

【二次元バーコードからも申し込みできます】

これまでに県から配信した内容は、次のような内容です。

- ・農作物技術情報(毎月、号外あり)
- ・農作物病害虫発生予察情報
- ・病害虫防除速報(水稻、野菜、果樹、花きなど)
- ・産地情報「産地紹介・人物紹介」(毎月)
- ・県からのお知らせ(イベント案内、研修会案内など)



今後も随時、情報発信していきますので、ぜひご利用ください。

### ～いわてアグリベンチャーネット掲載記事の紹介～

いわてアグリベンチャーネットでは、毎月、各地域の農業情報をお知らせしています。

【6～8月分の掲載記事】

○産地・産直情報

《盛岡》産地情報「岩手県内トップの出荷量を誇るJAいわて中央・ミニトマト産地」

《一関》産地情報「一関市大東町に産直施設がオープンしました！～室蓬讓水の里「道の駅だいてう」産直物販施設～

《二戸》産地情報「一大産地を目指して！！シャクヤク産地化に向けた取組」

○人物紹介

《八幡平》【人物紹介】地域に頼られる若手生産者 浦田政和さん・香織さん(岩手町)

《宮古》人物紹介『尾形大地さん 震災復旧農地を活かす畜産農家』

○『普及活動年報』県内各地域の普及センターの取組を紹介します。

下記のURL、または右の二次元バーコードからご覧ください。

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/index.html>



### 久慈農業改良普及センターfacebook 公開中！

久慈寒次郎が、最新の情報や、HOTな情報をお届けします。

下記のURL、または右の二次元バーコードからご覧ください。

<https://www.facebook.com/岩手県久慈農業改良普及センター-581601925540151/>

